

令和2年度

地域住民の防災力向上 ～平時からの取組～

近年、地震や台風、記録的な豪雨により、全国各地で甚大な被害が発生しています。耐震や治水対策といったハード対策は行政の最も重要な施策の一つですが、一旦大災害が発生すると、行政ができることには限界があり、自助と共助が非常に重要です。この研修では、地域住民の防災力向上のために、平時から行政がどのような取組を進めていくか、防災教育も含めて考えます。

※本研修は5月に中止した同タイトルの研修をあらためて実施するものです。

開催要領

- 日 程** 令和2年12月7日(月)～12月9日(水)(3日間)
- 場 所** 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分
- 対 象** 市区町村等の消防・防災に関わる職員
3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
- 募集人数** 40人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。
- 宿 泊** 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。
- 経 費** 10,200円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。
- 申込期限** 令和2年10月8日(木)まで
※新型コロナウイルス感染症の影響により、申込期限内での申込みが難しい等がございましたら、ご遠慮なくご相談ください。
- 申込方法** JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。
[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。
※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。
- 受講決定** 受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2～3週間前までの送付とさせていただきますので、ご了承ください。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。
- 事前課題** 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和2年

12月

7日(月)

11:00~
入寮受付・昼食

12:30~
開講・オリエンテーション

13:00~15:35
講義 地域における防災体制の構築に向けて
～災害のリスクコミュニケーション戦略～

京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 教授 矢守 克也 氏

自然災害から命を守るためには、住民自らが地域の危険箇所を認識し、平時から災害に対する心構えを持つことが重要です。

本研修の基調講義として、住民主導での防災体制構築を促すための、住民と行政との効果的なリスクコミュニケーションのあり方について、各地での実践事例を交えながらお話しいただきます。

15:50~17:00
事例紹介 「パッケージ化した防災学習」による防災啓発
～武豊町の取組～

愛知県武豊町 防災ボランティアの会 顧問 鈴木 重久 氏
総務部防災交通課 主事 松山 翔子 氏

防災ボランティアの会による、町内全ての公立保育園から高校まで継続して行う「パッケージ化した防災学習」の実施など、防災力向上のための取組の実例をご紹介します。

17:30~
交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

令和2年

12月

8日(火)

9:00~12:00
演習 ゲーム型教材クロスロードを活用した防災意識の向上

神戸クロスロード研究会・神戸市北区役所保健福祉部健康福祉課 課長 柿本 雅通 氏
神戸市職員の震災対応についての研究から生まれたゲーム型教材「クロスロード」をご紹介します。演習ではゲームの活用方法を学びながら、災害対応時に迫られる急な判断を疑似体験したり、グループで意見交換を行うことにより、日頃からの災害時を想定した取組の重要性について考えます。

13:00~17:00
演習 「災害図上訓練DIG」で防災対策

一般財団法人消防防災科学センター 研究開発部 主任研究員 小松 幸夫 氏
地域の特徴や課題を地図から読み取り、起こりうる災害時の被害をイメージしながら、いざというときの対応や事前対策を考える「災害図上訓練DIG」について、実際に体験し、その手法を学びます。

9:25~12:00
講義 地域の防災力向上のために

兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 教授 阪本 真由美 氏
地域の自助・共助の仕組み作りのために大切なことは何か、また市町村職員が地域住民とどう関わり、どのように取り組むべきかについて、地区防災計画などの事例を交えながらお話しいただきます。

12:00~12:30
ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

令和2年

12月

9日(水)

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひ登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。